

ふじやまだより

特集

作って遊ぼう



こどもたちにもものづくりの楽しさを味わってもらおうと始めた『こども工作の日』は、ますます盛況です。1回目と2回目はクラフトの蛇、ミニかごなどを作りました。3回目からは、ねんどのフクロウ、クラフトのフクロウ、そして5月は兎のしっぽ、おおばん草、きんぼうげなど、茶色、白、黄、赤の葉っぱや押し花を使ったポストカードです。



(写真右と下)でもちよっぴり問題もありそう。

これから楽しく続けたいとおっしゃって中心になって進めている藤井さんから記事を寄せていただきました。



少しのルールそしてより楽しく

工作部会 藤井良和

今年1月にスタートした<こども工作の日>も5月のポストカード作りで5回目になりました。毎回、大勢のお友達に参加していただき、大盛況でしたが、作る時間が足りなかったり、ちょっと難しすぎて、お父さんやお母さんの手を借りなければならないなど、少し問題点も見つかりました。そこで、今年の後半は少しだけルールを決めて、より楽しい充実した“子供工作の日”にしていきたいと思っています。



ルール1: 対象者は小等学生以上とします。大人、父兄の方の参加は原則としてご遠慮ください。*子供たちの感性、創造力を大切にすると同時に、自分で作る事の楽しさを体験していただきたいと思っています。

ルール2: 時間は午前10:00~12:00 午後13:00~15:00とします。*作品の完成時間は1~1.5時間を予定しています。完成

の喜びを味わうためにも時間に余裕をもって参加してください。

6月19日 麦わらで作る虫かご(ほたるかご)

7月17日 ペットボトルで涼しそうな窓飾り

8月21日 粘土細工。(ふじやまの動物をつくる)を予定しています。ふじやま公園ではいろいろな名人、達人が出番をまっています。作ってみたいものや、遊んでみたいものがあれば教えてください。いっしょに作ってみましょう。



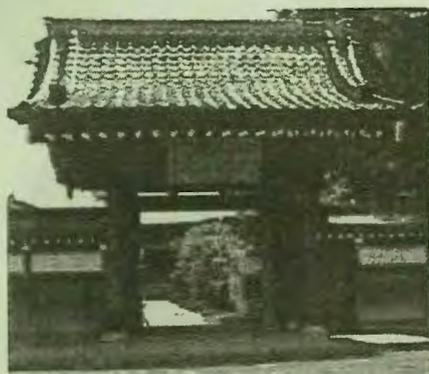
身近なところに歴史発見!

第7回栄区歴史双六探訪

小澤静子

笠間地区

風薫る5月7日(月)に笠間地区を地元の地域史研究会の横山氏が案内してくださいました。参加者は男女合わせて23人、みな健脚?ぞろいの人たちです。10時出発で、午前3キロ、午後2キロの行程です。



出発地点は笠間十字路です。まず、いたち川のそばの新橋の近くの庚申塔道標を見学。これは鎌倉古道と新道の分かれ道に置かれていたそうです。裏側には延命地藏尊が祀られていました。いたち川を下っていくと小さな水神の祠がありました。その昔大雨が降ると川があふれて田畑などに被害をもたらしたので水神様を祀って



祈願したそうです。田立の小高い丘の上に起立社御岳山遥拝所がありました。江戸中期から山岳信仰が盛んに行われ、立派な講碑や霊神碑が建てられていました。笠間の小笹医院の先々代の方が先達さんとして活躍されたそうです。線刻画の石碑や不動尊が2童子を伴っているのもありました。

次は神明社下の小さな薬師如来を見学し、神明社の石碑を見学して鎌倉街道沿いに進みました。今泉不動への道標として建てられた不動尊像があります。少し行くと法安寺がありました。

***** ここは住職のご好意で中まで拝観させていただき、弁財天と爪彫り観音石仏を見ることが出来ました。又、巡拝供養塔や徳本上人がデザインした六字名号塔を見学しました。

少し行くと昔年貢米を入れる蔵があった御蔵坂がありました。道を登っていくと青木神社に出ました。神社にお参りして100段の参道を下ります。裏宿辻のところに小さな賽ノ神の祠がありました。昔はサイト焼きが行われていたそうです。昼食は遺跡跡の笠間中央公園で広げました。次は鹿島神社です。この社は一時期青木神社に合祀されましたが地域の人の努力により分離独立できたそうです。前方には庚申塔群がありました。又境内には270年前の手洗鉢があり、今でも奉納者の名から現在の子孫の方がわかるそうです。最終地は柏尾川沿いにある鷹匠橋です。徳川家康がしばしば鷹狩りに来たという話があります。そばに川原から移した六地藏が祀られていました。笠間は、江戸から明治まで上総生実藩森川氏の知行地になっていた異色の土地柄です。又広さもずいぶん大きいです。横山さんご案内ありがとうございました。



つれづれのうた

草笛を吹く顔に日がちかちかと

星野立子

はたらいてもう昼が来て薄暑かな

能村登四郎

夕立が洗っていった茄子をもぐ

種田山頭火

初夏に花咲くシャリンバイ (花暦その8)



シャリンバイ

もともとは、海岸近くに自生する常緑低木ですが、園芸種として垣根などによく植えられています。本郷ふじやま公園では、園路の一部に沿って植えられています。葉が枝先に集まって車輪状につき、花が梅花のような形をしているところからシャリンバイと名づけられました。原種の花色は白色ですが、園芸種にはピンクのものもかなりあります。

5月頃、枝先に円錐花序を出し、直径1~1.5cmの5弁の花を咲かせます。葉は長さ4~8cmの長楕円形または狭倒卵形で、質は厚く、表面に光沢があります。

果実は球形で、熟すと多少白い粉をふいた黒色になり、食べられます。樹皮に多くのタンニンを含み、エキスを大島紬の染料として使います。

(バラ科シャリンバイ属)

●古民家めぐりスタンプラリー100人突破!!

平成15年4月から始めた、横浜市内の古民家がある公園6ヶ所をめぐるスタンプラリーで本郷ふじやま公園を最終ゴールにしたお客さまが2年で100人を越えました。5月5日には、戸塚の熊澤さんとおっしゃる女性がこられて、はつらつとした表情で歩くことと古い建物が大好きと話されていました。

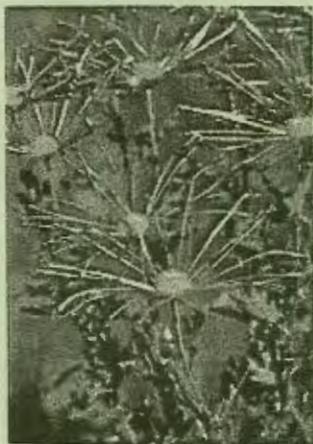
なんと、熊澤さんは5月4日に都筑民家園、せせらぎ公園、天王森泉公園、舞岡公園と歩いて5月5日長屋門公園からこの日、本郷ふじやま公園に到着したそうです。

残念ながらサインも写真を撮らせていただく時間ありませんでしたが、6ヶ所のスタンプを押した証明書のコピーだけはいただいて記念のプレゼントを差し上げることができました。



● 菊の苗をプレゼント!

5月1日と5日の両日、農芸部会が丹精し作った菊の苗を来園のお客さまにプレゼントしました。



←肥後菊

食用菊、嵯峨菊そして肥後菊の合わせて200本を古民家の入り口に用意して、希望されるお客さまに差し上げるととても喜ばれました。

準備した農芸部会の遠山さんも「喜んでもらえて、お客さまとの心のつながりができて嬉しい。」とおっしゃっていました。

花は10月ごろに咲くそうです。



↑嵯峨菊

教室案内と仲間募集

奮ってご参加ください お待ちしております

楽しい教室のお知らせ

教室名	日時	内容	定員	参加費	応募期限
作って遊ぼう～子ども工作の日～	7月17日 (日) 10時～12時 13時～15時	ペットボトルで作る窓飾り	なし 小学生以上	無料	申し込み不要 受付：10時～ 11時 13時～ 14時
染色教室	7月12日 (火) 13時～16時	藍の生葉でスカイブルーに染めましょう。	12名	2000円	6月30日(木) 必着
里山のそば打ち塾	7月23日 (土) 10時～13時	初心者でも美味しいそばが打てます。そば打ち、茹で、試食までします。	12名	700円	6月30日(木) 必着
初心者茶道体験教室	8月20日 (土) 13時～16時	講師：表千家、角田宗美先生 平服で気軽にお越しください。ただし白ソックス持参ください。	12名	500円 但し教材費	7月20日(水) 初心者大歓迎 男性もどうぞ

(1) 持参品：返信ハガキで連絡します。

(2) 定員：応募者多数のときは抽選

(3) 応募要領：往復ハガキに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて応募期限までに本郷ふじやま公園へ

この指と～まれ!

① いろいろの火守

人は火を見るとおしゃべりになる。いろいろを囲んで仲間同志語らいを。詳しくはふじやま公園事務所へお問い合わせください。

② 七夕祭りイベントのご案内

7月3日(日)～7月7日(木) 11:00～15:00 古民家廊下に笹竹を立てます。ご来園のみなさまに!! 将来の希望や願い事を短冊に書いて、折り紙などを添えて笹竹に飾り付けてみませんか。入場無料です。どなた様もお気軽にお越しください。

古民家ゾーンご利用案内

◆本郷ふじやま公園運営委員会 〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20
TEL:896-0590 FAX:896-0593

・開館時間：9:00～17:00 ・入館料：無料
・休館日：7月6日(水)
・クリーンアップ作業：7月5日(火)、19日(火) 10時～11時

◆環境創造局南部公園緑地事務所 TEL:831-8484 FAX:831-9389

お願い：「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ。広報部会長

